

■ 2021(年度)事業計画書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

認定NPO法人アンビシャス

I 事業実施の方針

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がける。今年度はコロナ禍における「相談・支援」の向上を重点的に各種講演会、研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目指す。

1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

県委託事業である難病相談支援センター事業は、主に難病相談・就労支援及び、非常時電源確保について強化するとともに、医療相談会などの全ての事業に加え、**小児慢性特定疾患**の成人移行期における自立支援においてもニーズに対応した取り組みを実施する。

2) 障害福祉サービス事業

就労支援を強化した、在宅就労形態「沖縄指笛」制作を難病患者さんに提供することに加え、ICTを活用した在宅就労を取り組む事業として位置づける。また、「難病患者交流」の場を提供し、利用者のニーズを探りながらアンビシャスならではの事業形態を目指す。

3) 難病に関する周知啓発活動

難病情報提供を目的に難病情報誌を毎月発行。当事者だけでなく一般市民へ難病に関する周知啓発と支援活動への理解を広める。特に「表紙は語る」コーナーでは当事者自らの体験を語ることで「世の中に難病は自分一人だけ」との孤独感の解消を図る。ホームページへのアップ、音声版(CDメディア)やメールマガジンでテキスト版を発行、様々な障害、ニーズに対応し情報格差の解消を目指す。

II 事業の実施に関する事項

2021年度 特定非営利活動に係る事業

認定NPO法人アンビシャス

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)(税抜き)
1)難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A)沖縄県縄委託事業 B)沖縄県補助事業 C)沖縄県小慢自立支援 D)那覇市小慢自立支援 E)患者会支援等 F)各種関係機関連携他	通年	事務局 又は 各自宅等	A)4名 B)4名 C)4名 D)4名 E)5名 F)7名	A)相談件数 1400件 B)貸与累計 20件 C)相談件数 360件 D)相談件数 36件 E)広報支援 17団体 F)医療相談会 32組 看護学生実習 16名 支援者研修 100名 災害自助力 50名 ピアサポート 10名	18,500 (内県委託 11,883)
2)障害者福祉サービス事業	事業所開設に向け準備(作業就労支援)	随時	事務局	3名	製作作業員 10名	300
3)難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動 (会報誌発行、ホームページ、他) 世界希少難治性疾患の日	通年 2/28	事務局	5名	会報誌発行部数 年間延べ 18,000部 参加者目標 100名	3,900
4)その他目的を達成するための事業						

支出額計 22,700